

一 次の文章について、杜注・釋文・會箋などを参考に、以下の問いに答えよ。

『左傳』本文は大字、小字は杜預注・釋文(○以下)・會箋である。

晉の襄公の没後(文公六年八月)、後継に「公子雍」を推す趙盾(宣子、趙衰の子)と、「公子楽」を推す狐射姑(賈季・狐偃の子)とが争った。賈季は、趙氏配下の陽處父が趙盾を無理矢理に国軍の将とし政權を握らせたことを憎み、一族の狐鞠居(續鞠居・續簡伯)に陽氏を殺させた。(以上プリント6末尾〜7) 晉は續簡伯(狐鞠居)を処罰し、そこで賈季は狄に逃げた。(文公六年十一月。プリント8)

① 夷之蒐箋曰、在今年、賈季戮與駢。箋曰、戮、辱也。凡刑罰皆是。

與駢之人、欲盡殺賈氏以報焉。與駢曰、不可。吾聞前志

有之、曰、『敵惠敵怨、不在後嗣、忠之道也。』敵、猶對也。

若及子孫、則爲非對。非對爲是遷怒也。○盡、津忍犯。夫子禮於

賈季。我以其寵報私怨、無乃不可乎。言己蒙宣子(趙盾)

寵位。介人之寵、非勇也。介、因也。○介、音界。損怨益仇、非

知也。殺季家欲以除怨、宣子將復怨己。是益仇。○知、音智。以

私害公、非忠也。釋此三者、何以事夫子。盡具其帑與

其器用財賄、親帥扞之、送致諸竟。扞、衛也。○扞、戸旦反。竟、

音境。(文公六年、十一月、傳)

- ①、③、⑤を分かりやすい日本語に訳しなさい。
- ②、⑥を書き下し文にしなさい。
- ④と⑥の「夫子」とは、誰のことか、明示しなさい。

二 テキストの「殺之戰」(五二頁〜五八頁)、及び配布プリント「殺之戰 顛末小記」(僖公三十三年〜文公四年。プリント1〜4)、「殺之戰から趙盾弑晉靈公へ」(プリント5〜10)について、長編小説に見立てて、今後の読者のために登場人物の簡便な紹介記事を書きなさい。但し、五人以上を扱うこと。